

てのひら

てのひらサイズの
できることから始めよう

あしのうら

朋あり 時の彼方より来る

1979年3月大学受験で桜散った私は、東京の予備校で学び直しての雪辱を決意しました。朝寝夜更かしが習性だったので、しっかりと浪人生活を送るため、生活拠点は千葉県船橋市にある予備校の寮に決めました。入寮日、勉強机と2段ベッド作り付けの9畳の部屋に集いしは、山口、群馬、栃木、青森の捲土重来に燃える若人4人。津軽弁を封印していた私は関東圏二人の言葉を聞き、「わいは、なんぼ訛ってるんず〜!」と思えば理不尽な思いを抱いたものです。高校を卒業したばかりの世の中を知らぬ田舎者4人が、予備校での授業時間以外ほぼ1日18時間、寝食を共にすれば楽しいことばかりではなく、大なり小なり軋轢も生まれます。しかしそれも今顧みれば得難い経験です。

5月その寮で同室だった栃木出身のI君と、42年ぶりに青森で再会しました。寮を退出以来、特段連絡を取り合うこともなかったのですが、数年前Facebookを通して繋がりができました。I君は今、東京6大学の1つで政治学の教授をしています。当時の印象からは想像できませんでしたが、大学進学後、様々な分野の万卷の書を読み、学校に通って英語と中国語を習得し、国連関係の仕事もしています。(国連職員のパスポートを初めて見ました)加えて還暦を過ぎてフランス語を勉強中だそうです。酒を酌み交わし、19歳の1年間を語り合えば時は瞬く間に過ぎ、次回東京での再会を約束して別れました。青森でひっそりと生きている私を訪ねてくれたことが、何よりもうれしい今年1番の出来事です。人と人との交わりは時間の長さではなく、その密度なのだと改めて考えた夜でした。(青森市 61歳 素浪人)

「てのひら」読んで 単位認定!

県民カレッジ学生の皆さんは、「てのひら」を読んで、所感を書く、単位認定します。(1単位)



「お花の時間」

今回のお花は、いける型にとらわれず自由に表現したものです。大きな葉っぱは旭葉蘭、紫の花は蘭の仲間デンファレといい美しく長持ちするので贈答用やいけばなに向いています。

らせん状の白い柳巻蔓は柳の木の皮をむいて漂白し乾燥させたものです。生花店では、ツルの先をくるくる巻いてピンでとめてあります。水を含ませると加工しやすく、伸ばして絡めるなどした柳を花と出会わせ、美しくいけるのがポイントです。

花材:旭葉蘭(アサヒハラン) / デンファレ / 柳巻蔓(ヤナギマキツル)
器:小原流新様式花器 写真提供:いけばな小原流

背景の赤、緑の葉に白いツル、クリスマスを思わせる色が揃いました。街が賑やかになる12月。厳かに新年を迎える1月。慌ただしい時季をお花に癒されお過ごしください。



読者プレゼント

株式会社 角弘 提供
青森生まれのプロテオグリカン配合

「ねぶたマスク」3枚

はがきに

①住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号
②てのひらの入手場所 ③てのひらの感想を明記して、あおもり県民カレッジ事務局「読者プレゼント係」までお送りください。令和4年 **1/17(月)** 消印有効。次号にてイニシャルで当選者を発表します。(個人情報はプレゼント発送以外に利用することはありません。)

第74号プレゼント当選者発表

M.N.さん(八戸市)/T.Y.さん(弘前市)
おめでとうございます!

3名様



編集後記

青森って楽しくて美味しい!

もっと青森のいいモノに目を向けようと思ったら、感謝の気持ちで食事し、モノは有難く使うようになりました。この青森で縄文人が米を作り漆器を使っていた事も、遥か大昔が今に繋がっていて感動です。青森♡ (木下)

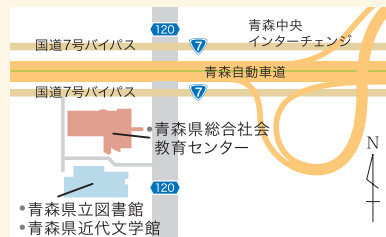
りんご娘の王林ちゃんが、津軽塗のピアスを着けてテレビ番組に出ていました。津軽塗といえばお箸のイメージ。“青森”をさりげなく、そして新しく取り入れていてとても素敵でした。皆さんの生活の中にも青森ならではの良いものがたくさんありそうですね。 (渡辺)

編集・発行 あおもり県民カレッジ事務局
指定管理者 豊かな学びを育む青い森グループ

〒030-0111青森市荒川字藤戸119-7
青森県総合社会教育センター
インフォメーションプラザありす
電話:017-739-0900 FAX:017-739-2570
Mail:alis02@jomon.ne.jp
https://www.manabi-aomori.com



あおもり県民カレッジ



令和3年11月発行 次号は令和4年1月に発行します。

あおもり県民カレッジ&生涯学習情報誌

てのひら

てのひらサイズの できることから始めよう



特集
p 2・3

連携機関紹介

地方独立行政法人 青森県産業技術センター

弘前工業研究所(弘前市)



- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場での講座は座席の間隔を空け、密にならないよう開催します。
- マスク着用の上お越しください。● 入室の際は検温・手指の消毒をお願いいたします。
- 当日体調がすぐれない方は入室をお断りすることがございます。ご了承ください。

あおもり県民カレッジって何?

身近な所で開催されている講座をはじめ、施設を見学したり、テレビやラジオの視聴、読書でも単位が取得できます。また申請すると単位数に応じて奨励賞などが授与されます。事務局では、皆さんの「知りたい」「学びたい」を応援します。

令和3年・4年

第75号

12・1月

学びの種をまく
あおもり県民カレッジ

p 2・3

- 特集
青森県産業技術センター
弘前工業研究所

p 4・5

- 12・1月生涯学習講座情報

p 6・7

- 12・1月生涯学習講座情報
- X'mas ライブコンサート
- 館内展示
- 映画観賞会
- ある日のお弁当
- カレッジ学生紹介
- 尾道てのひら怪談

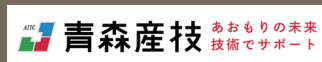
p 8

- あしのうら
- お花の時間
- 読者プレゼント 他

今回の連携機関紹介は弘前市にある「弘前工業研究所」です。

このコーナーではこれまで、家族で楽しめる鑑賞や体験ができる「施設」を紹介することが主で、前号では「人」にスポットを当てボランティア活動団体を紹介しました。今回はセレクトショップで津軽塗や木工を目にしたことから「モノ」について取材してみました。

まず津軽塗職人にお話を伺ったところ、**「一つの商品を誕生させるには、県や関係機関と多くの研究者が長い時間をかけて努力している」**ことを知り、弘前工業研究所にたどり着きました。

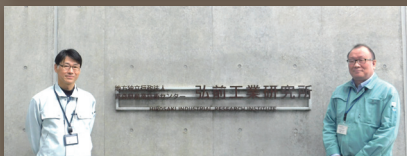


地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前工業研究所

弘前工業研究所は、全国初の総合研究機関となる地方独立行政法人「青森県産業技術センター」(※以下青森産技センター)の「工業・農業・水産・食品加工」からなる13研究所のひとつです。それぞれ4部門が連携を生かし、数多くの研究開発と成果を積み上げてきました。研究所と名の付く施設は遠い存在と思われるがちですが、私たちの身近な生活向上や産業の発展のため各部門で多くの研究者が活躍しています。その研究成果は地域の産業発展はもちろん、私たちの生活にたくさんの恩恵を与えてきました。普段は知る機会の少ない研究所についてご紹介します。



2022年 100周年を迎えます。



弘前工業研究所 工藤さん(左)と館山さん(右)

あおもりの未来、技術でサポート

それぞれの研究所は分野別に研究や支援を行っており
弘前工業研究所では3つの研究部と推進室に業務が分かれています。

技術支援部

製品・食品、工業用水・排水などの検査や測定などを行います。

発酵食品開発部

農水産物と微生物を活用した発酵食品の研究を行います。

機能性素材開発部

県産資源を活かし私達の美容や健康に役立つ素材を開発研究しています。

デザイン推進室

津軽塗や木工を中心とした工芸品やデザインに関する研究と指導・相談を行っています。

施設や設備が豊富にそろっています。

- 写真スタジオ ●レーザー彫刻機 ●農産物加工機器
- フラットベット型UVプリンタ 他

価値ある素敵な作品が誕生しています。



プロテオグリカン配合
青森ねぶた面フェイスパック



はちまんわんこ/はちまんうりぼう



津軽塗カップ



木のおもちゃ「魚魚(ぎょぎょ)」

商品化支援ツール「V-Cup」アプリ



App Storeから
ダウンロード

本年10月8日(金)県内企業や個人事業主支援のため青森共同計算センターと共同でiOS用スマートフォンアプリを公開し、翌日の地元紙経済面の記事としても取り上げられました。商品について悩んでいるときは、商品価値をアップするV-Cupの手法で問題点や新たな魅力を見つけて、前に進むことができます。今までは対面での相談でしたがコロナ禍で電話やリモートが増えるなか便利なツールとして気軽にスマホで利用できます。個人の方も、本気で取り組めば起業や新しい商品を誕生させるチャンスがあります。思いついたアイデアやあきらめかけている商品に本気で取り組んでみませんか。



こんな時!



今あるモノをもっと良くしたい!
商品企画を始めたい!
そんな時はV-Cupアプリを
利用しましょう。



デザイン推進室
工藤洋司さん



デザイン推進室
館山大さん

青森産技マルシェ

https://www.aomori-itc.or.jp/marche/marche_top.html

「青森産技マルシェ」では皆さんの食卓にあがる「食材」の中で青森産技センターが開発等に関わっているものについて情報発信しています。



青森県と青森産技センターの連携で誕生したアレコレ!

- 県産米 吟鳥帽子(ぎんえぼし)…寒さと病気に強く、日本酒ファンには嬉しい酒造りに適した品種です。
- ジュノハート…大玉で美しいハート型のさくらんぼです。
- 県産米 青天の霹靂…2015年にデビューした青森初の特A銘柄米。お笑い芸人「シソンヌ」のじろう(弘前市出身)も津軽弁コント動画でPRしています。

その他にも、県産技センターでは、私たちの食を支える研究をたくさん見つけることができます。ながいも、にんにく、しじみ…など、青森県に住んでいて幸せ!と思える食材ばかりです。

受講者募集

あomor県民カレッジ中南地区 地域キャンパス講座

津軽塗の文化と未来～津軽塗を科学する～

日時:令和3年12月8日(水) 10:15～11:15

場所:弘前工業研究所 募集締切:12/6(月)

津軽塗が、どんなに素晴らしい漆器か詳しく知ることが出来る講座です。漆器は、三内丸山遺跡から出土されたことから日本生粋ではないかといわれ、ロマンあふれる伝統工芸品のひとつです。講座は津軽塗の背景や歴史のほか、女性や子どもの手に馴染むサイズのお椀と箸をセットにした「津軽うるおい椀」や「漆器の手入れや保管法」などを1時間にまとめ解説します。館内見学もできます。お気軽にご参加ください。

●申し込みは あomor県民カレッジ事務局まで
Tel 017-739-0900

明るい色彩の津軽塗は
若い世代や海外からも
注目を集めています。



津軽うるおい椀

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前工業研究所

青森県弘前市扇町1丁目1-8

電話 0172-55-6740

https://www.aomori-itc.or.jp/soshiki/kou_hirosaki/



〈電車でお越しの場合〉
弘南鉄道 運動公園前下車、徒歩5分
〈車でお越しの場合〉
JR弘前駅より10分 / 東北自動車道、大鰐弘前ICより弘前方面に車で10分
東北自動車道、黒石ICより弘前方面へ車で20分



12月・1月 生涯学習講座情報

単位認定 講座、講演会、教室等…1時間につき1単位
見学、鑑賞、体験施設…1回につき1単位

講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
アコールギャラリー 12月:ロビー展 「宮腰菜津子ロビー展 光るこぎん」 こぎんのランプシェード展示	12/4(土)～11(土) 9:00～21:00	青森市働く女性の家 「アコール」	青森市働く女性の家 「アコール」 TEL/FAX 017-723-1700
アコールギャラリー 1月:階段ギャラリー 写真展「澤田教一・サタの歩み」 亡くなった写真家澤田教一と妻サタの写真を展示	1/6(木)～27(木) 9:00～21:00 ※1/9(日)は休館日		
令和3年度健康教室 くすりの知識 10カ条 講師:井上 咲子(薬剤師) 参加無料・要申込	12/15(水)13:00	元気プラザ	青森市保健所 健康づくり推進課 TEL 017-718-2942
青森県立美術館 ナイトミュージアム 5期 夜の美術館を楽しむための特別イベントをご用意 観覧料:一般510円、大学・高校生300円、中・小学生100円	12/18(土) 17:00～20:00		
企画展 東日本大震災10年 あかし testaments 甚大な被害を及ぼした東日本大震災から今年で10年。時間と共にうすれゆく震災の記憶を、いかに次世代へとつなぎ、教訓を伝えていくか…アーティストたちの作品を通して考えます。 【参加アーティスト】北島敬三、コ・スノウ、豊島重之、山城知佳子 観覧料:一般1,500円、高校・大学生1,000円、中学生以下無料	～1/23(日) 9:30～17:00 休館日:12/13(月)、 27(月)～31(金)、 1/1(土)、11(火)	青森県立美術館	青森県立美術館 TEL 017-783-3000
令和3年度青森県立郷土館 土曜セミナー 日々の暮らしに余裕と潤いを～夢と希望は美術から～ 講師:岩井 康頼 定員:30名(先着順) 受講無料	1/15(土) 13:30～15:00	青森県総合社会教育 センター 第5研修室	青森県立郷土館 TEL 017-777-1585
青森公立大学公開講座 2021 ねぶた学～ねぶた祭中止を乗り越えて:ねぶた師の想いとその取り組み～ 第6回「眠流し文化圏を考える」 講師:佐々木 てる(青森公立大学教授) 学生調査報告:佐々木ゼミ 「灯籠文化圏の比較研究」 対象:高校生以上 定員:70名(先着順) 受講無料	12/11(土) 13:00～16:00	新町キューブ グランパレ	青森公立大学地域連携 センター 公開講座係 TEL 017-764-1589
劇団 支木 第73回定期公演 魔笛 - 昭和17年、青森。小さな家族の物語 - 昭和17年、戦時下。太平洋戦争諸戦の勝利に湧き立つ日本。一方人々の暮らしには暗い影が… 〈前売券〉大人1,500円、小・中・高生500円(当日300円増)【全席自由】	1/6(木) 13:30～ /18:30～ ※各30分前開場 (全2回公演)	リンクモア平安閣 市民ホール (青森市民ホール)	劇団支木 TEL 017-744-2136

講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
7歳ワンツークャンプ 炊事などの生活体験や冬の自然体験活動を通して、基本的な生活習慣を身につけ、協力する心を育てるキャンプです。 対象:小学1・2年生児童 定員:20名 申込期間:12/15(水)～24(金)	1/22(土)～23(日)	青森県立梵珠少年 自然の家	青森県立梵珠少年 自然の家 TEL 0173-29-3303 FAX 0173-29-3306
冬の3daysキャンプ(新規) 冬ならではの自然体験活動や共同作業を通して、冬の自然に親しむ心と仲間とのきずなを深めるキャンプです。 対象:小学4年～中学2年の児童生徒 定員:24名 申込期間:1/17(月)～26(水)	2/11(金・祝)～13(日)		
教室型介護予防教室「いきいき教室」 正しく知ろう認知症の事 ～五所川原市の実態は～ 講師:五所川原市地域包括支援センター 対象:65歳以上の五所川原市民 申込期間:電話で前日まで 参加無料	12/8(水) 10:00～11:30 12/8(水) 13:30～15:00 12/22(水) 10:00～11:30 12/22(水) 13:30～15:00	金木公民館 保健センター市浦 コミュニティセンター栄 生き生きセンター	地域包括支援センター 地域包括支援係 TEL 0173-35-2111
美術館堆肥化計画2021 地域・アーティスト・美術館の協働による【堆肥場】としてのミュージアムをもとめて 『旅するケンビ』県立美術館プロモーション展示 入館料:一般200円、高校・大学生100円、小・中学生50円	～12/12(日) 9:00～16:45 (入館は16:15まで) 休館日:月曜日、 第4木曜日、祝日	中泊町博物館	青森県立美術館 TEL 017-783-3000
『耕すケンビ』 津軽編:みみずの足あと 参加無料	～12/12(日) 10:00～17:00 会期中無休	colere-ON (これるおん)	

講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
お雛様と吉祥画 津軽家ゆかりの雛道具や津軽地方に残る雛人形と、新年にふさわしい吉祥画を併せて展示します。 観覧料:一般300円、高校・大学生150円、小・中学生100円	1/8(土)～3/21(月) 9:30～16:30 休館日:毎月第3月曜日	弘前市立博物館	弘前市立博物館 TEL 0172-35-0700
冬の企画展 高岡の森どうぶつ園 古来より人の身近にあった動物について、江戸時代における人との関わりや、描かれた姿などを紹介します。 観覧料:一般300円、高校・大学生150円、小・中学生100円	1/7(金)～3/27(日) 9:30～16:30 休館日:1/17(月)、 2/21(月)、3/22(火)	高岡の森 弘前藩歴史館	高岡の森弘前藩歴史館 TEL 0172-83-3110
青森県立郷土館巡回展 ふるさとの宝物 -県立郷土館コレクション- 「考古」「自然」「歴史」「民俗」など6つの分野から「ふるさとの宝物」といえる貴重な資料を出品。開催地ゆかりの資料の展示もあります。 観覧料:無料	12/3(金)～12/23(木) 9:00～17:00 休館日:月曜日	平川市文化センター	青森県立郷土館 TEL 017-777-1585
音楽劇「海王星」 寺山修司が「天井桟敷」結成前に書いた未上演の音楽劇が58年の時を経て、ついに姿を現す！ チケット料金(全席指定)12,000円 U-25席6,000円	1/23(日)13:00～	弘前市民会館 大ホール	青森朝日放送 TEL 017-762-1111
2021年度 展覧会[秋冬プログラム] りんご前線 -Hiroasaki Encounters- 弘前遭遇 りんごのテロワール(土壌)・弘前―様々な出会いと遭遇の磁場 観覧料:一般1,300円、大学・専門学生1,000円、高校生以下無料	～1/30(日) 9:00～17:00 休館日:火曜日 (12/26～1/1は休館)	弘前れんが倉庫 美術館	弘前れんが倉庫美術館 TEL 0172-32-8950
令和3年度 弘前市立郷土文学館 〈北の文脈文学講座〉と〈ラウンジのひととき〉 新収蔵資料展 講師:櫛引 洋一(企画研究専門官)	12/18(土) 14:00～15:00	弘前市立郷土文学館 2階ラウンジ	弘前市立郷土文学館 TEL 0172-37-5505
俳句をうたう 出演:木村直美(声楽家)、鈴木久巳子(伴奏)	12/4(土) 14:00～15:00		
太宰治ドラマリーディング 冬の定期公演2021 アマチュア声優劇団 津軽カタリストによるライブ「朗読劇」 演目 (1)『朝』(2)『嘘』(3)『十二月八日』(4)『魚服記』 入場無料(事前予約不要)	12/11(土) 14:00～15:20	太宰治 まなびの家	津軽カタリスト TEL 090-3123-3861

講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
特別企画展2021vol.2 映画公開50周年記念 「書を捨てよ町へ出よう」 寺山の代表作のひとつ、映画「書を捨てよ町へ出よう」が公開されて今年で50年の節目である。現代においてそのフレーズがどのように社会で受容され伝播してきたか全体像に迫る。 入館料:一般550円、高校・大学生110円、小・中学生60円	～5/29(日) 9:00～17:00 休館日:月曜日 (12/29～1/3は休館)	寺山修司記念館 エキジビットホール	三沢市寺山修司記念館 TEL 0176-59-3434
Arts Towada 十周年記念「インター + プレイ」展 第2期 遊ぶ、演じる、こだまする アートがつなぐ人とまち 観覧料:一般800円、高校生以下無料	～1/10(月・祝) 9:00～17:00 休館日:月曜日、 年末年始(12/27～1/1)	十和田市現代美術館	十和田市現代美術館 TEL 0176-20-1127

講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
企画展 是川遺跡の鉢形土器 是川遺跡では、さまざまな種類の土器が出土しています。本展覧会では、その中から、多様な形態をもつ鉢形土器を集めて紹介します。 観覧料:一般250円、高校・大学生150円、小・中学生50円	12/11(土)～3/21(月・祝) 9:00～17:00 (入館は16:30まで) 11/6(土)～12/26(日) 9:00～17:00	八戸市埋蔵文化財 センター是川縄文館	八戸市埋蔵文化財 センター是川縄文館 TEL 0178-38-9511
八戸市美術館開館記念「ギフト、ギフト、」 八戸市を代表する祭りである「八戸三社大祭」を出発点に、アートを通して“ギフト”の精神を見つめる展覧会とプロジェクトを開催します。 観覧料:一般1,300円、高校・大学生700円、小・中学生200円	～2/20(日) 休館日:火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始(12/31、1/1)	八戸市美術館	八戸市美術館 TEL 0178-45-8338

お願い

施設の状況、イベントや講座の開催について変更している場合があります。公式サイトなどから最新の情報を確認するとともに、主催者にお問い合わせいただきご参加ください。また、お出かけの際は感染対策にご配慮ください。

12月・1月 生涯学習講座情報

単位認定 講座、講演会、教室等…1時間につき1単位 見学、鑑賞、体験施設…1回につき1単位

お問い合わせ・お申込みは あおもり県民カレッジ事務局まで

☎017-739-0900 ●●●●●●

下北地区	講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
	あなたにもできる、簡単クッキー作り 可愛いお子さんのために、お孫さんのために、作ってあげましょう、手作りクッキー。簡単ですよ! 定員:25名(先着順) 申込締切:1/20(木) 受講無料(筆記用具持参)	1/23(日) 11:00～12:00	まさかりプラザ3F	ボランティアむつの会 TEL 090-1494-5544 (菊池)

地域キャンパス講座 県内6地区で開催

地域色豊かな講座や専門的な講座を開催し学習の機会を提供します。
あおもり県民カレッジ学友会や市町村等と協力・連携しながら県内6地区で開催。

地域	講座名/講師	内容	日時	定員	開催場所
青森市	「外ヶ浜の古代・中世」 青森市の起源を探る 講師:工藤 清泰 (東北中世考古学会 会長)	【第1回】 東北新幹線の工事中に発掘された 石江遺跡群の意味を考える	12/16(木) 10:30～12:00	20人 (要申込/先着順)	青森県総合社会教育センター 2階 第5研修室
		【第2回】 遺物から見た「外ヶ浜の中世」を探る	12/17(金) 10:30～12:00	20人 (要申込/先着順)	青森県総合社会教育センター 2階 第5研修室
青森市	津軽塗の文化と未来 ～津軽塗を科学する～ 講師:弘前工業研究所	私たちの身近にある津軽塗がどんなに素晴らしい 塗り物か、津軽塗の技法と特徴を知り、近年の研究 成果と津軽塗の未来を詳しく知ることができる講座。	12/8(水) 10:15～11:15	25人 (要申込/先着順)	青森県産業技術センター 弘前工業研究所

ボランティア自主講座 県総合社会教育センターにて開催

※受講無料 講座によって材料費が必要となります。

あおもり県民カレッジでは、県総合社会教育センターを利用して、一般の方でも特技や知識を活かし“ボランティア講師”として講座にチャレンジできる「ボランティア自主講座」を随時開催しています。詳しくはお問い合わせください。

講座名/講師	内容 他	日時	定員
遠州流茶道講座 講師:柴田 宗桃	遠州派の流派に沿って、基本のお手前で、薄茶、濃茶のお点前を学ぶ。 材料費:500円 持ち物:ふくさ、扇子、懐紙、ようじ (貸し出し可。申込みの際にお知らせください。)	12/16(木)、1/20(木) 13:00～16:00	15人
コンテナガーデン講座 講師:桜庭 るみ子	お正月の寄せ植え 材料費:1,000円～(花材によって変わります。) 持ち物:エプロン、ゴム手袋、シャベル、持ち帰り用袋	12/12(日) 10:30～12:30	15人
アンガーマネジメント 診断体験講座 講師:町屋 宗邦	「アンガーマネジメント診断」をすることで、自分自身の怒りの感情 の特徴や傾向を客観的に見てみよう。 持ち物:筆記用具	1/15(土) 14:00～15:00	15人
第2弾 免疫力アップ! ウォーキング講座 講師:渋谷 清光	簡単なレクリエーション・ゲームを取り入れ、歩けるからだ作りをしよう。 持ち物:飲み物、汗拭きタオル ※動きやすい服装で参加ください。	12/10(金)、24(金) 1/14(金)、28(金) 10:30～11:30	15人

映画観賞会のお知らせ

(注)開催場所のお間違えのないように!

12/11(土) 三十四丁目の奇跡

(1947年 アメリカ 96分)
日本語字幕で上映
クリスマスに現れたサンタを
巡って巻き起こる騒動を描く



1/8(土) 風と共に去りぬ(前編)

(1939年 アメリカ 97分)
日本語字幕で上映
愛や戦争に翻弄されながら
力強く生き抜く令嬢を描く



場所:青森県総合社会教育センター 2階大研修室
開演13:30～(開場13:00)
定員150名 申込不要 入場無料

浅虫町会 名画鑑賞会

12/18(土) 父ありき

一人息子を男手で育てた
父親と、離別と再会を果
たす息子との違いを思う
愛情を描いた小津安二郎
監督作品。



場所:「道の駅」浅虫温泉 ゆ～さ浅虫
4階 大会議室
開演:13:20～(開場:13:00)
定員:30名 入場無料
お申込み・お問合せ:浅虫町会
017-752-2049

パソコン講座 ～Wordで年賀状作成～

「Wordで年賀状作成」に参加してみ
ませんか?講師は青森中央経理専門
学校の学生の皆さんです。

- 12/12(日) 10:00～12:00
- 定員20名(要申込/先着順)
- 青森県総合社会教育センター
4階 第10研修室



令和3年度 あおもり県民カレッジ施設利用券

Christmas ライブコンサート

2021.12.25(sat)13:30～15:00(13:00会場)
青森県総合社会教育センター 大研修室
入場無料 定員80名(要申込/先着順)

フルート・ヴァイオリンデュオ

フルート 竹澤 聡子
青森県立音楽高等学校音楽科フルート部ディレクター就任。
スウェーデン・ストックホルム音楽院フルート科首席卒業生。

ヴァイオリン 野根 和廣
青森県立音楽高等学校音楽科ヴァイオリン科首席卒業生。
スウェーデン・ストックホルム音楽院ヴァイオリン科首席卒業生。
スウェーデン・ストックホルム音楽院ヴァイオリン科首席卒業生。

ピアノ 船橋 真子
青森県立音楽高等学校音楽科ピアノ科首席卒業生。
スウェーデン・ストックホルム音楽院ピアノ科首席卒業生。

J-POP カバー

ゆめこ (ボーカル)
青森県立音楽高等学校音楽科ボーカル科首席卒業生。
スウェーデン・ストックホルム音楽院ボーカル科首席卒業生。

花田 涼太 (ギター)
青森県立音楽高等学校音楽科ギター科首席卒業生。
スウェーデン・ストックホルム音楽院ギター科首席卒業生。

山本 一心
2018年12月第1回青森県民カレッジ施設利用券
2019年12月第2回青森県民カレッジ施設利用券

〈お問い合わせ・お申し込み〉
あおもり県民カレッジ事務局
〒985-0111 青森県青森市大森町1-10-7
Tel:017-739-0900 / Fax:017-739-2570
Mail:info@aoomori-kollege.jp

主催:青森県総合社会教育センター
(この講座は県民カレッジ施設利用券の対象講座です。)
お問い合わせ・お申し込みは県民カレッジ事務局まで。
本講座の開催に協力しています。http://www.aomori-kollege.jp

フルート・ヴァイオリンデュオ、篠笛など素敵
な演奏とパワフルな歌をお届けします。

12/25(土)13:30～15:00
青森県総合社会教育センター 大研修室
入場無料 定員80名(要申込/先着順)
※マスク着用でご参加ください。

『寺田 博 版画展』

青森の風景をモノクロの世界で表現。

場所 青森県総合社会教育センター 階段ギャラリー
期間 12月3日(金)～1月31日(月)
9:00～18:00
休所日:第4月曜日、12/29(水)～1/3(月)



初雪の朝、合浦公園

尾道でのひら怪談

インターネットで「てのひら」と検索すると、こちらの
「生涯学習情報誌てのひら」がすぐに出てきます。同
じワードで偶然見つけたのが「てのひら怪談」です。
てのひら怪談とは800字の掌編怪談の呼称で、各
地で「ご当地てのひら怪談」が開催され、その土地
の魅力を伝える怪談を生み出す試みとして、作品
を一般募集しているものです。字数が少なく読み
やすいのが気軽に嬉しい点です。尾道では、2017
年に続き昨年第2回目が開催され、多くの力作が寄
せられました。受賞者の中に県民カレッジ連携機関
である「高岡の森弘前藩歴史館」の石岡館長のお名
前を発見しました。通勤途中のこわ～い出来事を作
品にしていました。怪談好きな方はぜひ、石岡館長
のように挑戦してみてください。

あおもり県民カレッジでは読書も単位認定
します。図書館や書店などで、心を動かす
一冊に巡り合えるといいですね。

ある日のお弁当

「ツリー弁当」

前日作ったキーマカレーがベース。四
角くカットしたカラーピーマンのマリ
ネをタイルのように並べた上に、ブ
ロッコリーとウインナーでツリーを形
作りました。そこへ、雪だるまに仕立て
たうずらの玉子とミニトマトのベー
コン巻をトッピングして出来上がり。



「リース弁当」

ケチャップライスの上に、ほうれん草の
バターソテーでリースを形作り、リボン
形の赤ピーマンをアクセントに、ミックス
ベジタブルで飾り付けをしました。おか
ずは、カラーピーマンの肉詰めとカレー
風味のマッシュポテト、ウインナー、卵焼
き、ミニトマト。どちらも簡単。普段と変
わらぬおかずです。でも、クリスマスカ
ラーを意識して、詰め方をちょっと工夫
しただけで目先が変わり、ランチタイム
が楽しいものになりました。



ピーマン豆知識

主な栄養成分はカリウム、βカロテン、ビタミンC、ビタミンE、食
物繊維。中でも、ビタミン類の含有量はトマトやレモンにも引け
を取らないそうですよ。ちなみに、緑のピーマンを完熟させると
赤ピーマンになるとのこと。独特の苦みを楽しむなら緑、くせの
ない甘みを楽しむなら赤ピーマンでしょうか。ただ、栄養価では、
赤ピーマンに軍配が上がるようです。(文責:料理は不得手!)

めんだりカッチャの会 (中泊町)

あおもり県民カレッジ令和3年度単位認定者への記念品は、あおもり
県民カレッジのロゴが入った緑のバンダナでした。そのバンダナを、
さっそく使ってくださっていると聞き「めんだりカッチャの会」の
皆さんを訪問しました。内湯療護園(中泊町)で30年近くボランティ
アをされている皆さんは、通所者の配膳や食器洗いなど、活動は年間
300日に及ぶそうです。34人のメンバーは60代から80代後半まで、
ボランティアを活力に元気な笑顔で生涯学習を楽しんでいました。



新調したエプロンに「あおもり県民カレッジ」の
ロゴ入りバンダナを三角巾にして全員集合!



令和3年4月より会長に就任した
三上つまさん。(長年、会を支えてき
た葛西美奈子会長からバトンタッチ。)

ボランティアと健康

長野県が長寿日本一の要因は、健康への関心と社会参加だと
言われています。生きがいを持って生活することは、長寿につ
ながります。誰かの役に立つことで、健康という贈り物が用意
されているようです。皆さんも小さなことから始めませんか。

施設の状況、イベントや講座の開催について変更している場合があります。公式サイトなどから最新の情報を確認するとともに、主催者にお問い合わせ
いただきご参加ください。また、お出かけの際は感染対策にご配慮ください。